

十月二日
増日雨

杉山

一位置
二行動

「ヒカ」ニ留ル

中隊ハ獨歩第一八五大隊ノ南陣地第一線陣地ノ構築作業ニ依然協カス。ワヒワ作業開始ニ九ママ終了

一 第一小隊小隊長以下一九名ヲ以テ陣地ノ輕掩蓋座ノ構築

二 第二小隊小隊長以下二名ヲ以テ陣地ノ材料ノ伐採運搬及輕掩蓋座ノ構築

三 第三小隊小隊長以下二七名ヲ以テ陣地ノ北端三叉路直接防衛ノ戰車障碍物ノ構築

四 中隊長ハ陣地偵察及各小隊作業ヲ指導ス

五 三石軍曹以下二名陣地偵察ヲ爲ス
六 土屋上等兵以下二名「カマリツグ」ニ至リ人夫五十三名ヲ兵隊ヨリ受領自動貨車ニ依リ歸隊ス

0716

三人 員 中隊長以下一五四名（出張三名 分遣五名）

人員中六入院患者（二名）ヲ含マズ

四給 養 中隊ノ携行糧秣ニ依ル

五衛 生 患者 練兵休一六名 内詳左ノ如シ

神経痛一名 胸部挫傷二名 マラリヤ熱帶熱 四名

急性咽喉炎三名 右手背挫傷兼裂創一名

左裸部潰瘍一名 急性腸炎一名

耳部挫傷兼切創一名 病名未詳 二名



十月二日 月曜日 曇

「ピガ」ニ留ル

一位 置 塚日命第七十三號

二命 令 工兵第二中隊日々命令 九月二日

0717

陸軍上等兵 芦辺 好松

右「ル」セナニ患者療養所ニ入院中ノ處九月二十三日治癒退院本日歸隊ス

三行 動

午前中兵器被服手入ヲ實施ス

中隊ハ前日ニ引續キ第一線陣地ノ構築作業ヲ爲ス

一三〇作業開始ニ〇〇作業中止

一第一小隊小隊長以下一九名土民一六名ヲ以テ陣地輕掩蓋LG座ノ構築

二第二小隊小隊長以下二三名土民一六名ヲ以テ陣地

輕蓋掩蓋LG座ノ構築

三第三小隊小隊長以下二五名土民一四名ヲ以テ前日ニ

引續キ水際戰車壕ノ構築

四中隊長ハ各小隊作業ヲ指導ス

五〇二〇井上伍長以下二名自動貨車ニ依リ「ナガ」エ

0718

四人員

五給養

六衛生



十月三日
火曜日雨

一位置

二行動

兵隊本部ヨリ歸隊

芦辺上等兵退院ノ多一名増中隊長以下一五五名

(出張ニ名分遣五名)

前日ニ同シ

患者練兵休一六名 前日ニ同シ

コビガニ留ル

一第ニ小隊小隊長以下ニ名ヲ以テ陣地輕掩蓋座ノ構築ハセヨ一ニ間作業シ陣地完成

二第ニ小隊小隊長以下ニ名上民九名ヲ以テセヨ

ニ間陣地輕掩蓋座及無電指揮所輕掩蔽部ノ構築

0719

三第三小隊小隊長以下二四名土民三五名ヲ以テ〇セ〇

一ニ〇〇ノ間前日ニ引續ギ水際戰車壕ノ構築

四中隊長ハ各小隊ノ作業ヲ指導ス

三人員異動ナシ一五五名(出張ニ〇名分遣五名)

四給養前日ニ同シ

五衛生患者 練兵休一三名 マラリヤ熱帯熱二名 治癒

急性咽喉炎二名 治癒



十月 水曜日 雨

一位 置

二命令 杉作命甲第八二號

獨立歩兵第八大隊命令

一敵潜水艦ノ配置ヨリ判断スルニ一兩日中中部及北部

<p>5. 銃砲隊(MG 銃)ハ主力ヲ以テ、右第一線一部ヲ以テ左流トス</p>	<p>4. 左右第一線中隊戦闘地域ノ境界ハ開豁地中央ニ</p>	<p>3. 左第一線 第一中隊(主力 銃歩兵第三中隊ノ一小队機関銃一 小队工兵第三中隊主力配屬)</p>	<p>2. 右第一線 第三中隊(一小队機関銃三小队及工兵第三中隊ノ 一小队配屬)</p>	<p>1. 第四中隊長ハ右バコ警備隊ヲ併セ指揮スヘシ</p>	<p>如ク準備スヘシ</p>	<p>三. 當分ノ間各隊ハ大隊戦闘指導計画ニ依ルハ外、左ノ 二. 大隊ハ益々戦備ヲ嚴シセントス</p>	<p>自來ニ對シ敵未攻ノ公算大ナリ</p>
-----------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	--------------------------------	----------------	------------------------------------------------------------------	-----------------------

0721

第一線中隊ニ協力

6 豫備隊

第四中隊ノ小隊

7 作業小隊及工兵第二中隊(小隊缺)ハ所定ノ位置
(「アユウ」西側)

8 砲兵ハ計画ニ基キ水際戦闘ノ準備

四各隊ハ水際戦闘準備ノ發令ト同時ニ前項ノ部署ニ就
クモノトス

本發令ニ基ク部署ハ移作命甲第ハ號ニ基ク部署ノ
変更完了迄ト豫定スルモ新ナル部署ハ別命ス

五本四日夜以降海上監視ハ前項軍隊區分毎ニ實施ス

六通信班長ハ大隊本部ト第一線西中隊長並ニ砲兵隊

長間ノ通信連絡網ヲ速ニ構成ス

七兵器掛ハ特ニ對戰車資材ノ配布彈藥燃料ノ分散配

置(取敢へス)カ(附近)ヲ速ニ實施スヘシ	八子ハ「カ」ニ在リ水際戦闘發令後「ブ」ウ「ン」ニ位置ス	各隊ハ本夜以降常時命令受領者ヲ大隊本部「差出ス」	大隊長 杉山中佐	下達法命令受領者ヲ集メ口達筆記後印刷交付	配布先 乙ノ234 G/A A 2P 3P	報告先 81B	杉作命甲第八三號	獨立歩兵第一八五大隊命令 十月四日ニ○○○ 「カ」	一工兵第二中隊長ハ部下ニケ分隊ヲ以テ戦闘指揮所ノ 構築城施設ニ任セシムヘシ 細部ハ別ニ指示ス	大隊長 杉山中佐	下達法命令受領者ニ口達後複寫交付	配布先 乙 2P
----------------------	-----------------------------	--------------------------	----------	----------------------	-----------------------	---------	----------	------------------------------	---------------------------------------------------	----------	------------------	----------

0723

塚日命第七十四號

工兵第二中隊日々命令

十月四日

陸軍兵長

竹林正勝

右 十月七日間日直勤務ヲ命ス

陸軍一等兵

今田信夫

右 威第七八六二部隊ニ入院中ノ處九月二十一日治癒退院

本四日歸隊ス

陸軍伍長

根木

香

以下十六名

右 爆破作業實施ノタメ兵站監部ニ出張中ノ處本

四日歸隊ス

中隊ハハセロロ一六ハハノ間陣地構築ヲ爲ス

一 第一小隊小隊長以下一八名土民六名ヲ以テ陣地輕

掩蓋座ノ掘開作業

三行動

0724



大衛 生	五給 養	四入 員										
患者 練兵休一ニ名 前日ニ同シ	前日ニ同シ	留養者根木伍長以下二大名歸隊タメ現在四名 今遣五名	今田等兵退院ノタメ一名増 中隊長以下一五六名	車ニ依リ糧秣ヲ受領シ一七〇〇歸隊ス	七堀内少尉以下五名〇九〇リガオニ貨物廠ニ自動貨	院歸隊ス	六一七〇〇今田等兵威第七八六二部隊ニ入院中治癒退	五一七〇〇根木伍長以下十六名コマニシ兵站監ヨリ歸隊ス	四中隊長ハ各小隊ノ作業ヲ指導ス	續々水際戰車壕ノ構築	三第ニ小隊小隊長以下二大名土民ニ八名ヲ以テ前日引	二第ニ小隊長以下二四名土民九名ヲ以テ陣地ノ 輕掩蓋座及洞窟ノ構築

0725



昭和十九年十月一日

戰鬥指導計畫(水際擊碎)

獨立歩兵第百十五大隊(南地區隊)

0726

戦闘指導計画（水際撃砕）

独立歩兵第八十五大隊（南地區隊）

第一方針

- 一 主カヲ以テ「レガスピ」方面一部ヲ以テ「タバゴ」方面ヨリ上陸スル敵ニ対シ作戰シ先ツ「レガスピ」上陸ノ敵ヲ撃砕ス
 - 二 大隊ハ常ニ敵ノ奇襲的上陸ニ對應シ得ルノ態勢ヲ完備シ之ヲ水際ニ於テ撃砕ス
 - 三 敵空挺隊ノ奇襲攻撃ニ對スル準備ヲ完整シ機ヲ失セス之ヲ殲滅ス
 - 四 我航空基地ハ飽ク迫之ヲ確保シ敵ノ航空基地獲得ニ極力阻止ス
- 第二要領
- 一 基礎配備
 - 別紙第一ニ基キ戰備ノ度ニ應スル所要ノ態勢ヲ取り警戒ヲ嚴ニシツ、築城其他ノ戦闘準備ニ努ム
 - 二 敵小企圖ノ上陸ニ對スル戦闘

1. 主トシテ島嶼ニアル部隊及海岸ニ在ル部隊ヲ以テ水際ニ撃碎シ敵ノ真企圖ノ偵知ニ努ム

2. 要スレハ一部ヲ島嶼又ハ海岸ニ増加ス

3. 敵ノ本格的上陸ニ對スル戦鬪

ハ「カタンダネス」島警備隊ハ主カヲ以テ「ピラク」附近ニ位置シ同地附近ノ陸海軍諸部隊ト密ニ連絡ヲ保持シ敵情ヲ搜索スルト共敵ノ同島上陸ヲ妨害ス

敵上陸スルニ至レハ「ピラク」港々灣施設ヲ破壊シ敵ノ利用ヲ妨害シタル後後方山地ニ後退シ遊撃戦ヲ續行シツ、敵情ヲ搜索ス

2. 敵ノ本格的上陸ヲ察知セハ左ノ部隊ハ敵ト接觸シツ、撤退集結ス
a. 「ラップ」島分遣隊「バタン」島分遣隊↓「レガスピ」警備隊へ
b. 「サンミゲル」島監視哨↓「タバコ」警備隊

c. 「カリンゴン」警備隊ヲ「カヤオ」分遣隊ニ合シ「カス」南側高地陣地へ
d. 「リモト」分遣隊ヲ「カヤオ」分遣隊ニ合シ「カス」南側高地陣地へ

東京小津結

0728

陸軍

ル第二中隊主カハ「リガオ」地区ニ小隊ヲ残置シ其他ノ主カヲ以テ速ニ「カニューハン」大隊本部ヘ

但シ撤退ニ方リテハ各地航空情報無線分隊及海軍部隊ト密ニ連絡スルヲ要ス

3. 「レカス」地区戦闘指導要領別紙第三ノ如シ

4. 「タバコ」地区戦闘指導要領別紙第三ノ如シ

第三 戦備

一 戦備ノ度ヲ第一戦備 第二戦備 戦闘戦備ノ三種ニ区分ス
ノ第一戦備

第一線陣地(注ナル豫想上陸點ノ海岸警戒ノ含ム)ニ於ケル警戒ヲ嚴ニシ第二線陣地及

主陣地ハ共ニ工事ヲ實施シ成シ得レハ訓練ヲ行フ

第一線陣地ノ兵力ハ戦闘戦備時ニ同シ

2 第二戦備

第一線陣地(注ナル豫想上陸點ノ海岸警戒ノ含ム)ノ警戒ハ第一戦備ニ同シ

主カハ第一線陣地ニ在リテハ第一戦備ノ態ヲ得ルヲ要ス

0730 0729

ル第二中隊主力カハリガオ地区ニ小隊ヲ残置シ其他ノ主力ヲ以テ速ニ
「スエーデン」大隊本部ヘ

離島分遣隊ハ常時民船ヲハラオラ徵用シ撤退集結ニ使用ス

第三中隊主力及「ソルン」警備隊機動為ニ民間自動貨車四ヲ徵用利用ス

五 封空機部隊ノ戦闘ハ最前部隊ノ機ニ投スル迅速ナル戦闘ト大隊長ノ敏
速ナル兵力機動ヲ依リ機ヲ失ヒス之カ殲滅ヲ期ス

敵ノ小隊落下傘隊ニ對シテハ在郷軍人分會土民自警團官憲ヲ利
用シ之カ迅速ナル情報ノ收集ト捕獲殲滅ヲ圖ル

四 其他

ハ水際戦闘ニ使用スル兵力カハ特ニ命令セル兵力及患者ニシテ已ム得
サル者以外ハ全員トス

二 「レガスピ」露營地區内各衛兵ハ水際戦闘發令ト共ニ別命ナク
努メテ速ニ各中隊主力ニ集結スヘシ

0730 0729

主力ハ第二線陣地及主陣地ニ於テ直チニ戦闘ニ應シ得ル基礎
的態勢ニ於テ陣地ノ増強補備及訓練ニ從事ス

3 戦闘戦備

敵ノ上陸ニ對シ其ノ儘直チニ戦闘ニ轉移シ得ルノ配備ニ在リテ待
機ス特ニ陣地ノ絶對秘匿ニ注意ス
此ノ場合ノ兵力ノ配置ハ次ノ如シ

各防衛隊ハ第一線陣地第二線陣地ニ現有兵力ノ約二分ノヲ
主陣地ノ要點ニ約三分ノ一ノ兵力ヲ配置ス

二 各戦備ハ轉移ハ旅團長ノ命令ニ依ル

大隊長ハ情況ニ應シ機ヲ失セス嚴ナル戦備ハ轉移ヲ命シ絶
對ニ警戒上ニ虚隙ナカラシム

第四 交通通信

其一 交通

一 鐵道及道路ノ警備計画別紙第四ノ如シ

二 鐵道道路上、橋梁並港灣施設ハ兵力ヲ撤去ニ當リ徹底的ニ破壞シ敵ノ利用ヲ防止ス

三 機動ノ爲民間自動車ヲ利用ス又運搬用トシテ牛馬車輛橇車ヲ準備ス

四 海上機動補給連絡ノ爲舟艇ヲ準備ス其繫留位置ハ選定ヲ適切ニ企圖シ秘匿ト危警防止ニ努ムルト共ニ常ニ大隊主力ト連絡ヲ確保ス

其ニ 通信

一 通信連絡計画別紙第五ノ如シ

第五 補給

其一 要旨

一 補給ハ近ク断絶スヘキヲ予期シ自活對策ヲ講ス

二 軍需諸資材ハ全ク現地物資ヲ利用スル外敵ニ據リ萬物戦力化ヲ計ル

三 作戰計画ニ吻合スル如ク軍需品ヲ分散ス

其ニ 兵器彈藥

一現有資材ヲ極力節用スルノ外一切敵ニ求ム特ニ鹵獲兵器活用
並戰場遺留兵器ノ收集ニ努ム

二彈藥使用基準量左ノ如シ

第一線陣地ヨリ第三線陣地迄

現有量ノ三分一

本陣地ノ戦闘

同右

三鑛山用ダイナマイト等軍ニ使用シ得ル總テノ資材ハ悉ク適時速ニ
移動シ陣地内ニ集積シ橋梁障碍用樹木等ノ爆破手榴彈及戰
車地雷兵器代用品並兵器修理製造等ニ活用ス而シテ之カ實
行ヲ速ニシ敵ノ利用ヲ絶對ニ妨止ス

四兵器器材ハ自カヲ以テ速ニ修整整理整備ス

五比島側官憲ノ全兵器ハ戦闘開始直前之ヲ押收ス

六自動車用アルコール燃料ヲ蒐集ス

其三糧食

一少クモ一年分ヲ標準トシテ集積ス止ムヲ得サルモ速ニ六月分ノ取得ニ努ム

東京小津稿

0733

而シテ變敗セサル如ク監理使用時期ニ注意スルト共ニ絶對ニ敵手ニ入ラシメス且爆撃等ノ爲損害ヲ局限シ得ルヲ要ス

ニ極力現地物資ヲ活用シ補給品ノ充足ニ努ムル外「バルゴ」軍貨物廠ヨリ補給ス

三自活手段ヲ講スル外努メテ代用食ヲ集積シ家畜類ハ自ラ飼育ス

四魚類肉類野菜等ヲ取得加エシ長期保存シ得ル如ク工夫集積ス

五水ノ保有ニ遺憾ナキヲ期ス

六糧秣使用量ハ今日ヨリ極力節約シ戰鬥間ト雖モ半定量ヲ以テ標準トス

七野菜果實等食用ニ供シ得ヘキモノヲ調査シ之ヲ利用シテ給養ノ向上ヲ期ス

第六 衛生

一傷病兵ノ收容退避治療後送等ニ関シ具體的ニ準備シ之ヲ保護並戰力回復ノ迅速化ニ遺憾ナキヲ期ス

二藥物ハ極力節用スルト共ニ平素ヨリ蓄積ニ努ム

第七 其他

一 在留邦人ヲ利用シ戦カヲ増強ス

二 防諜

ハ比島人ハ悉ク敵側ニ加祖スヘキヲ顧慮シ特ニ警戒ヲ嚴ニス
之陣地ノ構築ニ方リテハ土民ヲ使用セサルヲ本則トス

止ムヲ得ス使用スル場合ハ局地的ニ使用シ絶對陣地ノ全貌ヲ窺知
シ得サルヲシム

又陣地附近ニ一般民衆ノ交通ヲ禁シ潛入ヲ絶對防止ス

三 報告通報

ノ第三戰備下令後各隊ハ毎日二回(六時十九時)異狀ノ有無ヲ急
要スルモノハ其ノ都度直チニ報告シ大隊長ノ指揮ニ遺憾ナカラシム

2. 戰鬥開始後ニ於テハ其ノ都度速報スヘキハ勿論ナルモ特ニ部ノ中間
報告各段落毎ニ報告ヲ確實ニシ又戰況変化ナキ場合ト雖モ朝
夕夜半ニ定期的ニ報告スヘキモノトス

東京小津納

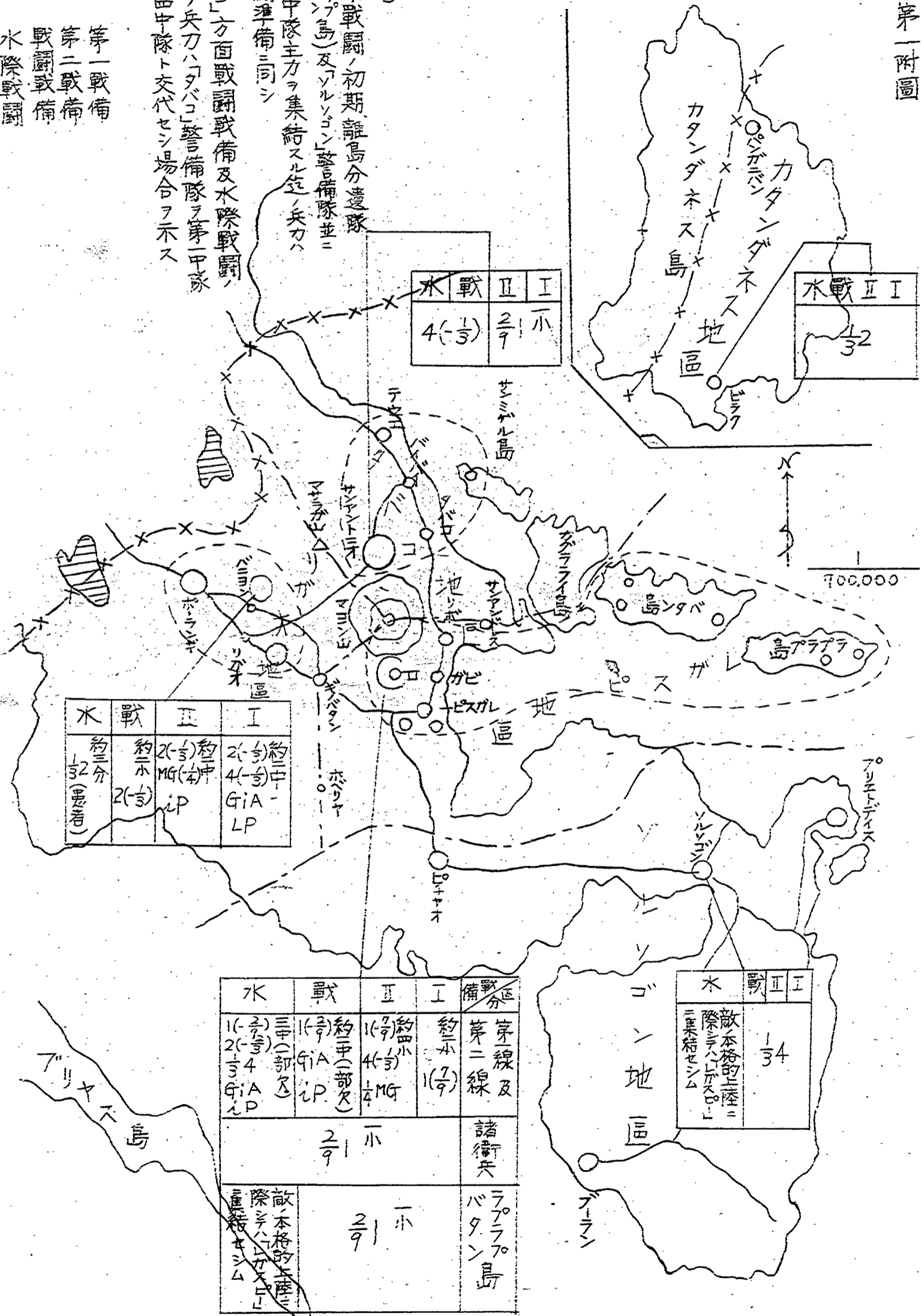
0735

各戰備度應力基礎配置要圖

別紙第一附圖

三例
 I 第一戰備
 II 第二戰備
 戰 戰備
 水 水際戰備

備考
 一 水際戰備初期、離島分遣隊
 (バアラブ島)及ソルソロン、警備隊並ニ
 第二中隊主力ヲ集結スル迄、兵カハ
 戰備準備ニ同シ
 二 「タバコ」方面戰備及水際戰備、
 場合、兵カハ「タバコ」警備隊ヲ第一中隊
 ト第四中隊ト交代セシ場合ヲ示ス



「レカスピ」地区戦闘指導要領

第一 方針

配備ノ重點ヲ「ピカ」北方地区ニ置キ海軍部隊ト密ニ協力シ海中及水際ニ撃滅ス

第二 要領

一 基礎配備附圖ノ如シ海軍部隊ノ配備就中水際ノ配備ハ其準備ノ進捗ニ伴ヒ大隊ノ配備ト密ニ吻合セシム

二 敵ノ上陸企圖ヲ察知セハ機ヲ失セス左ノ道路ノ橋梁及要部ヲ破壊シ敵ノ行動ヲ阻止ス

(1) 「レカスピ」「タバコ」「テウホ」道(「レカスピ」地区及「タバコ」地区分組)

(2) 「タバコ」(「バイバイ」)「ナシシ」道(「タバコ」地区分組)

(3) 「レカスピ」「リガオ」道(含マズ)以南各道(「レカスピ」地区特ニ第一隊及「ソルンゴン」地区担任)

三水際戦闘ニ際シテハ所要ノ舟艇ヲ準備シ秘密位置ニ配置シ之ヲ以

テ逆上陸及海上攻撃ヲ敢行シ之ニ密應スル陸上ヨリノ攻襲ト相俟ツ
 テ敵ニ陸上據点ヲ領有スルノ餘裕ナカラシメ之ヲ海中ニ裏破ス
 四特ニ敵ノ上陸第一夜ニ於テ大隊ハ全カヲ盡シテ連續攻襲ヲ加ヘ爾後飽
 ク造積極果敢執拗ナル奇襲敵リ込ミ戰法ニ依リ敵ノ抵抗意志
 ヲ消滅セシム
 五特ニ準備スル事項
 一肉攻組及分隊
 二斬込隊特ニ敵上陸當初ヨリ敵陸上據点内ニ潜伏シ外方ヨリスル
 我斬込隊ニ對シ内方ヨリ策應スル爲潛伏斬込隊ヲ準備ス
 三舟艇
 四一般機動用
 五逆上陸用
 六偽裝漁船 漁船ヲ裝ヒ敵船ニ接近シ奇襲ス 或ハ爆薬ヲ裝
 置シタル漁船ヲ水際ニ置キ之ニ敵舟艇又ハ戰車ヲ撃突セシメ或ハ

東京小津結

0738

之ヲ肉攻組斬込隊ヲ潛伏セシメ殴リ込マシム

大各兵種ノ用法

其一歩兵

(1) 一般歩兵

1. 對戰車戰鬥ノ爲金員肉攻ニ徹ス特ニ重要ナル地奥ニハ肉攻組ヲ配置ス

2. 水際至近距離ニ於テ火力ヲ發揚シ人的損害ヲ與フ特ニ歩戰分離ヲ策ス

3. 果敢執拗ナル奇襲隊リ込ニ戰法依ル逆襲ヲ行フ之レカ爲移動設備外匍匐ニ徹底シ且多數ノ逆襲據奥タルキ予備陣地ヲ設備ス而シテ各

據奥ハ敵陸上據奥ノ擴大ヲ極ク妨害スル爲防禦陣地ニ準シ設備ス

4. 大隊トシテノ主要逆襲方向ハ「Z」トシテ「リ」ガ附近ヲ經テ東北方高
フモノ及「リ」ボ「西方」地區ヨリ東南方ニ向フモノトス

5. 中隊主力ノ據奥ハ水際ヨリ概ネ二軒ノ線トシ此ノ間ニ縱深アル陣地
ヲ設備シ遊撃奇襲戰法ニ依リ執拗果敢ナル交撃ヲ行フ

6 而シテ中隊主力ト大隊予備隊トハ連撃アル據兵ヲ構成シ止ムヲ得アル
7 第三線陣地ヲ死守ス

(四) 機関銃

1 渚ノ戦斗ニ全クヲ擧ケ爾後主トシテ逆襲及歩戦分離ニ協カス五
十米以内ノ外對戰車射撃ヲ行ハス

2 大隊部ヲ第一線中隊ニ配屬シ一銃宛分置シ林縁ヨリ努メテ内方ニ位
置シ限定セル方向對シ斜射倒射スルト共ニ陣内縱深陣地ヲ設備ス

3 小隊長分隊長ハ最奇ノ一般歩兵分隊ヲ併セ指揮セシムルコトアリ
(イ) 大隊砲

1 重兵中隊方面特ニ渚ノ線ニ主火カヲ準備シ準備セル急襲地兵
ニ對シ短切ナル急襲射撃ヲ行フ外陣内縱深ニ陣地ヲ設備シ適時

逆襲ニ協カス

2 銃砲隊長銃指揮ノ下ニ小隊毎ニ戦斗ス但シ小隊内各分隊ハ
努メテ離隔ス

3. 砲兵ト密ニ連撃ス

(一) 作業隊

1. 工兵ニ準シ特ニ逆襲ニ協力ス

其二 砲兵

(1) 各種火砲ノ任務

1. 野山砲——各門對舟艇及對戰車射撃

2. 追撃砲——主トシテ重兵方面ノ渚ノ戦斗ニ爾後陣内逆襲ニ協力特ニ大隊砲ト密ニ連撃ス

3. 二十五耗高射機関銃(海軍ヨリ協力)——先ツ渚戦斗ニ於ケル敵舟艇及戰車對シ射撃ニ使用シ爾後陣内兵ヲ對戰車射撃ニ任ス

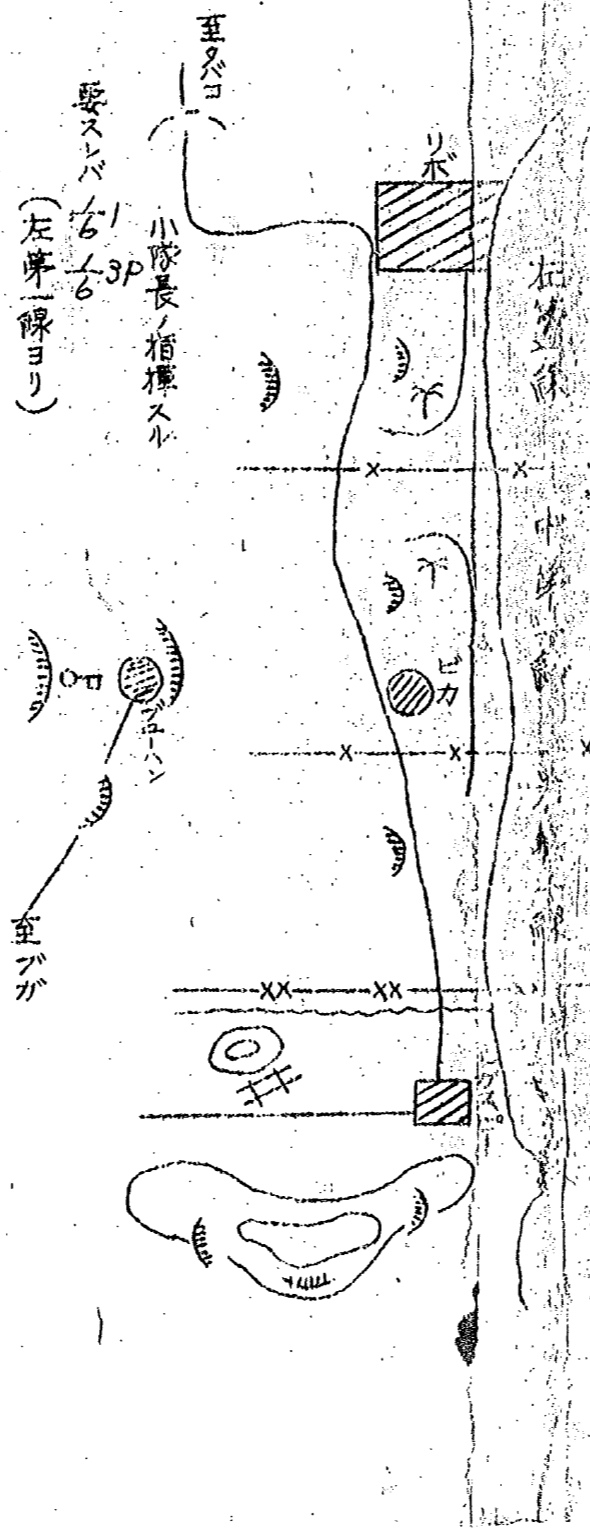
4. 擲進彈——逆襲ニ協力

(四) 砲兵隊長ノ隷下部隊ノ外水際及陸上戦斗ニ於ケル海軍側砲兵トノ連撃統制ニ任ス

其三 工兵

- 一 主トシテ對戰車戰鬥就中肉攻及障礙物ノ急設攻果築城特ニ逆襲ニ協カスルニ任シ所要ニ應シ斬込隊ニ任ス
又陣地要部ノ補修砲兵ノ陣地妻換ニ協カス
- 二 一部又ハ主力ヲ第一線中隊ニ配屬スルコトアリ
- 三 敵ノ上陸企圖ヲ察知セハ本文第二要領ノ(四)ニ示ス道路橋梁及要部ノ破壊ニ協カス
- 七 所要ノ地域ニ肉攻地帯及游軍地帯ヲ設ク
- 八 旅團直轄部隊砲兵ノ一部又ハ臨時速射砲中隊ヲシテ「ガスピ」方面ノ戰鬥ニ參加セシメラルコトアリ
- 九 細部ハ別ニ計畫ス

集結後	離隔部隊	集結前	離隔部隊	時期	区分
GIA (-MG)	GIA (-MG)	GIA (-MG)	GIA (-MG)		銃砲隊
					作業隊
IP					砲兵隊
		DA(- $\frac{1}{2}$ 2)	3(- $\frac{1}{2}$)		
		2P(- $\frac{1}{3}$)	2P(- $\frac{1}{3}$)		2P
		3P(- $\frac{1}{3}$)	3P(- $\frac{1}{3}$)		3P
		$\frac{1}{2}$ 1 $\frac{1}{2}$ 3 2(- $\frac{7}{12}$)	$\frac{1}{2}$ 3 IP		予備隊



集結後	離隔部隊	集結前	離隔部隊	時期	区分
1(- $\frac{1}{6}$) $\frac{3}{8}$ MG $\frac{1}{3}$ 3P	1(- $\frac{1}{6}$) $\frac{3}{8}$ MG $\frac{1}{6}$ 3P				
3(- $\frac{1}{3}$) $\frac{4}{8}$ MG $\frac{1}{3}$ 2P	3(- $\frac{1}{3}$) $\frac{4}{8}$ MG $\frac{1}{3}$ 2P				
$\frac{3}{12}$ 3 $\frac{1}{8}$ MG	$\frac{3}{12}$ 3 $\frac{1}{8}$ MG				
$\frac{2}{12}$ 4	$\frac{1}{6}$ 4 大隊予備隊 (諸衛兵)				

「レガスピ」地区

集結後	離隔部隊	集結前	離隔部隊	時期	地区
1 3 GIA IP DA(劫) 3P(- $\frac{1}{3}$) 2P $\frac{2}{12}$ 4	1(- $\frac{1}{3}$) 3 GIA IP DA(劫) 3P(- $\frac{1}{3}$) 2P				「レガスピ」地区 (島ヲ除ク)
4(- $\frac{3}{12}$)	4(- $\frac{3}{12}$)				タバコ
$\frac{1}{3}$ 2	2(- $\frac{1}{3}$) $\frac{1}{6}$ 3P				リガオ
					ソルゴン
					カダギス
$\frac{1}{3}$ 2	$\frac{1}{3}$ 2 後退兵				

全般

水際戦闘部署

独立歩兵第百八十五大隊(南地区隊)

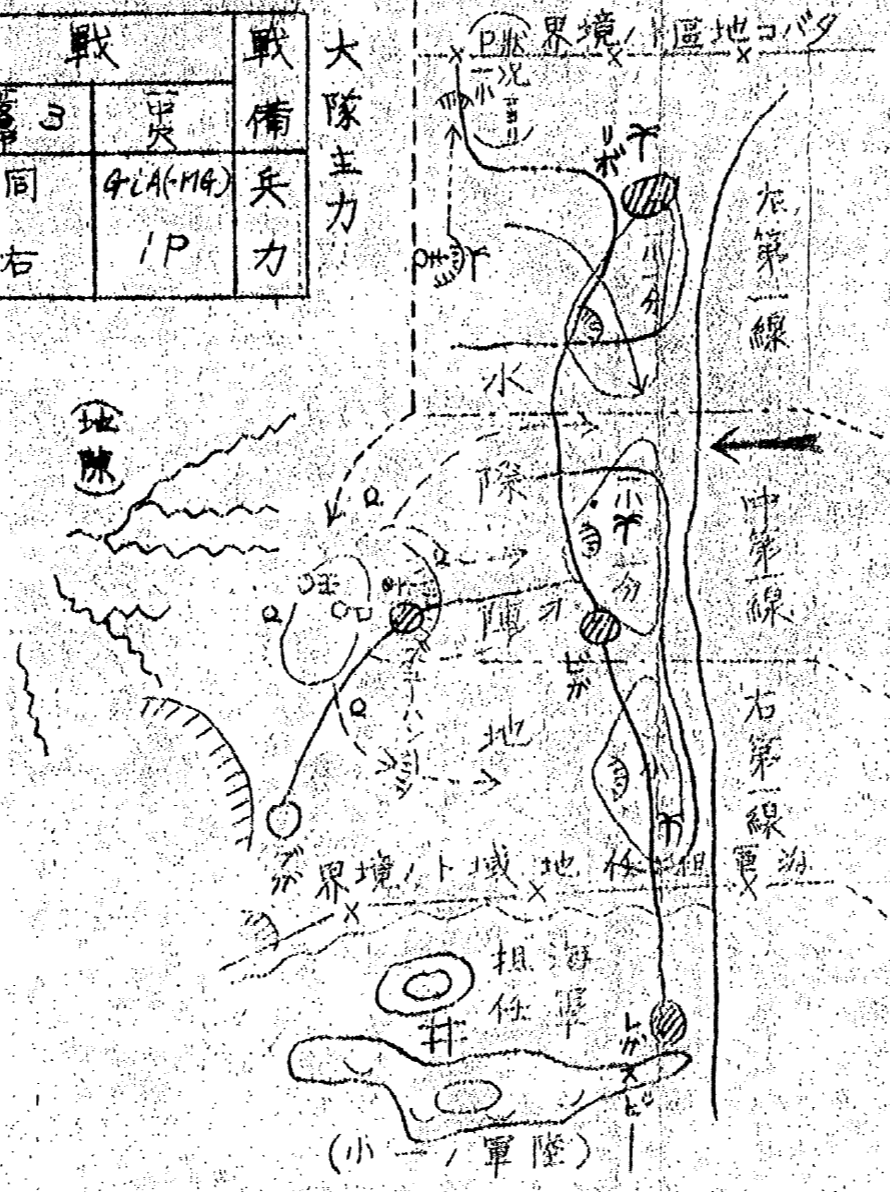
水際陣地基礎配備要圖

於此以ハリス地

別紙第三附圖

水		戰		戰備
後歸 3	中穴 同右	後歸 3	中穴 4IA(MG)	兵力
6IA(MG)		同右	IP	兵力
2(-音)				
1/4				

大隊主力



水		戰		戰備
後歸 3	中穴	後歸 3	中穴	部
1(-1/3)	1(-1/4)	1(-1/4)	1(-1/4)	
3/8 MG	1/4 MG	1/4 MG	1(-1/4)	
			1/4 MG (左第一線)	
3(-1/3)	2(-1/4)	3(-1/3)	1/4 MG (右第一線)	署
2/4 MG	2/4 MG	2/4 MG		
1/3	2/4	2/4		
1/8 MG	1/4 MG	1/4 MG		
	配置	所要		
	(1/4)	應シ		

備考

MG二(内押収三)内三六機置ス若シ
銃砲隊ノ人員充與セハ全部ヲ使用ス
二砲兵ハ省略ス

別紙第三

タバコ地区戰鬥指導要領

要領

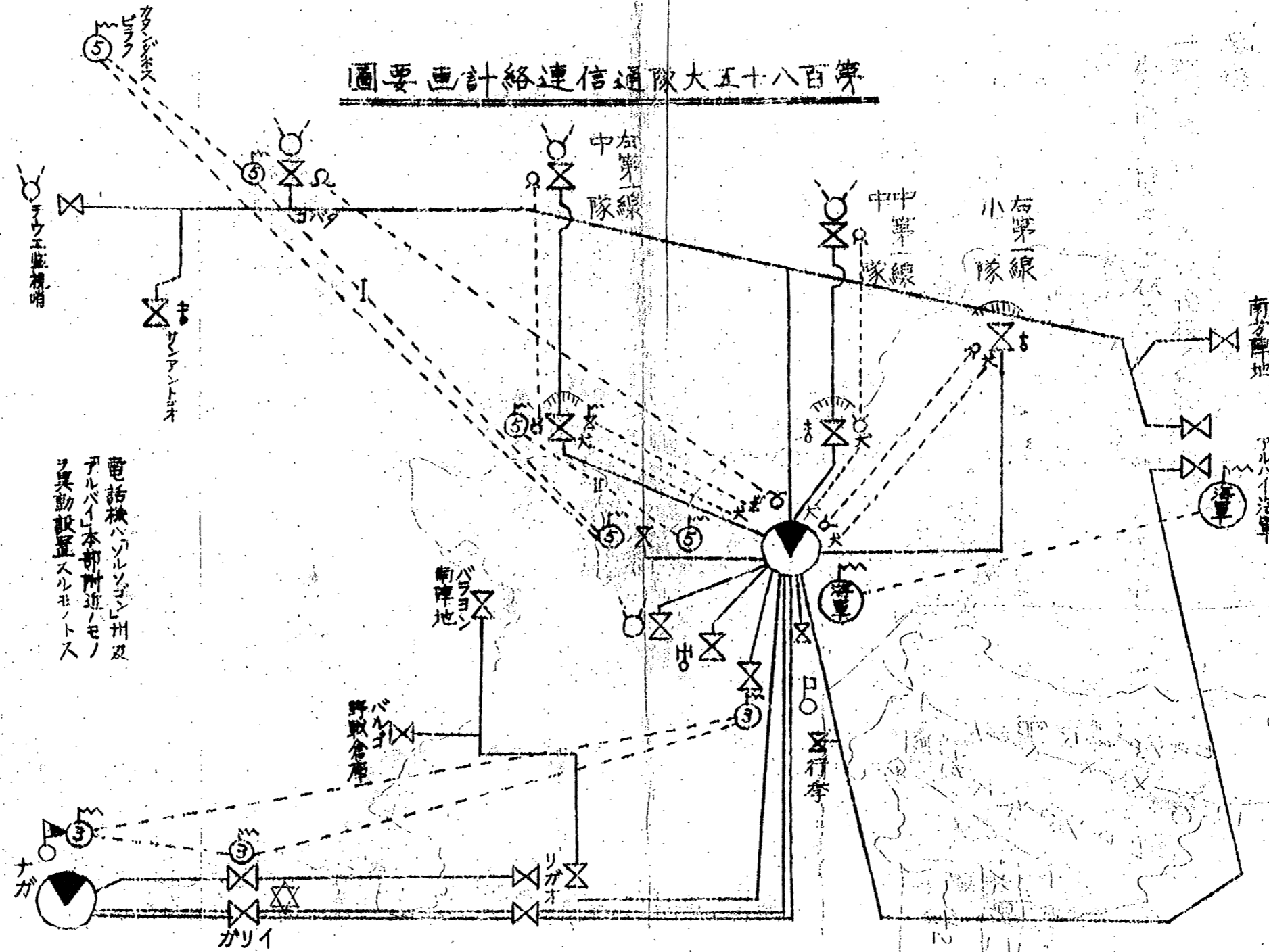
- 一 敵前進ヲ阻止シ密接ト觸接ヲ保持シ
- 二 小企圖ノ上陸ハ之ヲ擊破ス
- 三 將士ハ水方面ニ行動セサル如ク妨害牽制ス
- 四 中港ハ成ルルケルニ保衛ス



- 四 専ラ奇襲遊毒戰法ニ依ル之カ爲ニ箇ノ遊毒地區ニ區分シ主力ヲ何レニ使用スルカハ狀況ニ依リ左遊毒地區ニ使用ヲ二期ス
- 五 敵ノ上陸企圖確定セハ「アウエ」「アバコ」「レカス」道及「ガカウ」中「アバコ」「カシ」道ノ橋梁及要部ヲ破壊ス
- 六 所在海軍部隊ト密ニ協カス
- 七 「レカス」附近ノ戰況之ヲ許スニ至ラハ大隊ハ主力又ハ一部ヲ以テ直チニ海岸方面ヨリ北進「アバコ」方面ノ敵ノ根據地ヲ覆滅ス
- 八 情況之ヲ許セハ黒宮大隊ノ一部又ハ主力ヲ以テ海岸ヲ南進シテ本戰ニ參加セシメラル
- 九 亦後ハ大隊主力ノ行動ニ關シテハ當時ノ情況ニ依リ定ムルモ主力ヲ以テ「レカス」附近ニ位置シ敵ノ再舉ニ備フ

圖要画計絡連信通隊大五十八百第

別紙第五



電話機ハソノ州及
アルバイ本部附近ノモノ
ヲ異動設置スルモノトス

陸軍中日誌用紙

七糧秣受領

十月四日「リガオ」貨物廠ヨリ受領セシ糧秣左記ノ如シ

左記

十月五日
木曜日 雨

品目	種類	数量	量	梱内容	梱数	備考
精米	胚	二二四	四	四	五六	一五〇名ニ對スル
生醬油	豆	一四四	一	八	八	一ヶ月分トシテ
米粉	胚	三〇			一袋	
カシ粉		二		二	一袋	
食塩		九		四五	二	
砂糖		二五			一	
煙草	本	九			二袋	
白米		一五〇			六箱	

陸軍

0747

二命令

一位置
「ヒカ」ニ留ル

塚作命第四十一號

工兵第二中隊命令

十月五日ハハ
ビガ

敵潜水艦ノ配置ヨリ判断スルニ兩日中中部及
北部「ルソン」ニ對テ敵表攻ノ算大ニシテ比島ゲリ
ノ活動モ「ルソン」州及「リボ」東方各島嶼ニ於テ依
然熾ナリ

二獨歩第一八五大隊ハ益々戰備ヲ嚴ニセラレ當分ノ間各
隊ハ大隊戰鬪指導計畫ニ依ル外左ノ如ク準備ス

ノ工兵第三中隊ハ主カテ左第一線(歩兵第一中隊)
ニ配屬セラル、準備ニテモトス

三中隊ハ杉作命甲第八十二號ニ基キ大隊戰鬪指導
計畫ニ依ル外、水際戰鬪準備發令ト同時ニ左
ノ如ク部署シ南第一線陣地ノ主陣地構築ヲ續

0748

行セントス

一、第一第二戰備及戰鬥戰備ニ於テ右第一線(歩兵第三中隊)ニ第二小隊ヲ配属

二、主力ヲ以テ大隊予備隊トナリ、六子ウハニ東北側所定ノ位置ニ至ル

四、指揮班ハ藤井伍長以下三名ヲ以テ中隊水際戰鬥準備ノ爲メ陣地構築ノ偵察ニ任スヘシ

五、第一小隊ハ主力陣地構築作業ニ任シ十月十日迄ニ完成スヘシ 細部ハ別ニ示ス

六、第二小隊ハ明六日、六子ウハニ移動シ水際戰鬥準備之際、部署ヲ歩兵第三中隊ト協定シタル後、主

陣地構築作業ニ任シ十月十日迄ニ完成スヘシ

七、第三小隊ハ中隊担任作業区域内河川ノ氾濫ニ関シ偵察シタル後、藤井伍長ト連絡シ中隊水際戰鬥

0749

陣地ノ構築ニ任スヘシ	八根木伍長ハ杉作命甲第八三號ニ基キ兵ニ〇名ヲ	指揮シ大隊本部指揮用掩蔽部ノ構築ニ任シ十月	十日迄ニ完成スヘシ	北前川上等兵ハ各小隊ニ人夫及水牛ヲ夫々平均シテ	交付スヘシ細部ハ別ニ示ス	十、山口兵長(兵ニヲ付ス)ハ自動貨車ヲ以テ「ロ」ガスピル	ヨリ主陣地間ノ材料輸送ニ任スヘシ	土、余ハ「ロ」ガニ在リ中隊水際戦闘陣地ヲ偵察後各	小隊作業ヲ指導シ水際戦闘準備發令ト同時	「ア」ウ「ハ」ン「レ」東北側ニ位置ス	中隊長 塚根 中尉	下違法 各小隊長 指揮班長 根木伍長ヲ集ム口達	報告先 105DP
------------	------------------------	-----------------------	-----------	-------------------------	--------------	------------------------------	------------------	--------------------------	---------------------	--------------------	-----------	-------------------------	-----------

0750

通報先

1851

注意

一人ハ何時ニテモ暗中ニ於テ整然靜肅ニ武装シ
得ル如ク準備スルコト

二、第二小隊ハ土民ヲ使役シ糧秣彈藥器材ハ明六日中ニ
必要ナル最ク限ヲ残置シテハ運搬スヘシ

三、重要書類ハ之ヲ取纏メ散乱セザル様準備スルコト
中隊ハセウローニ九ワノ間陣地構築ヲ爲ス

三行動

一、第一小隊小隊長以下一六名土民一五名ヲ以テ陣地輕
掩蓋座ノ構築

二、第二小隊小隊長以下二三名土民二三名ヲ以テ陣地洞
窟ノ構築

三、第三小隊小隊長以下二四名土民一四名ヲ以テ前日ニ列續
キ水際戰車壕ノ構築午後夕陣地各個掩体構築

0751

十月十日
金曜日
雨
一位
置



大衛 生
五給 養
四人 員

四根木伍長以下三名ヲ以テノ陣地ノ大隊本部指揮申	中掩蔽部ノ構築	五一七〇〇師團參謀長ハ第一線陣地ノ狀況視察ノタメ	末隊サル	大中队長ハ各小隊ノ作業ヲ指導ス	異動ナシニ五六名(出張四名 分遣五名)	前日ニ同シ	患者 練兵休 二三名 右胸部挫傷一名	胸部挫傷一名 病名未詳一名 計三名治癒	マツリヤ二名 病名未詳二名 計四名發病	コヒガニ留ル第二小隊ヲユウハンニ移動ス
-------------------------	---------	--------------------------	------	-----------------	---------------------	-------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------

0752

二行動

一、第一小隊小隊長以下十九名土民十五名ヲ以テ〇七三〇一六三〇ノ間ノ陣地輕掩蓋ト座ノ構築

二、第二小隊八午前中移動準備午後〇五二〇ハシニ移動ス

移動完了後車ニ依リ糧秣彈藥器材ヲ〇五〇六ニ運搬ス

三、第三小隊小隊長以下二十四名土民十五名ヲ以テ〇七三〇一五〇〇ノ間ノ陣地各個掩体ノ構築

四、根本伍長以下二〇名八午前中移動準備午後〇五〇六ニ

二移動シ三〇〇一五〇〇ノ間ノ陣地大隊本部指揮用中

掩蔽部ノ構築

五、中隊長八中隊水際戰鬥陣地ヲ偵察後各小隊作業場


ヲ指導ス

六、藤井伍長以下三名中隊水際戰鬥準備ノ夕ノ陣地構築

築ノ偵察ヲ為ス

七、山口兵長以下三名自動貨車ヲ以テ〇レガスピノヨリ主陣

0753

<p>地間ノ材料輸送ヲ爲ス</p>	<p>八二〇〇中隊長ハ隊長會議ニ参加ノタメ杉山部隊本部第一線陣地火網編成關シ協定シ三四〇〇歸隊ス</p>	<p>三人 異動ナシ一五六名(出張四名 余遣五名)</p>	<p>四給 養 前日同シ下給品ノクハ各人三個宛支給ス</p>	<p>五衛 生 患者 練兵休八名 右率背挫傷兼裂創一名 急性咽喉炎一名 マラリヤ三名 計五名 岩癒</p>		<p>十月七日 土曜日曇</p>	<p>一位 置</p>	<p>「ピガ」ニ留ル第三小隊ヲユウノクニ留ル 杉宮命第四十二號 露營命令</p>	<p>一左ノ通り露營勤務ニ服務スヘシ 十月七日 ガレ</p>
-------------------	------------------------------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	----------------------	-------------	--------------------------------------------------	----------------------------------------

0754

十月七日 露營日直將校 冢根中尉

〃 〃 〃 中谷中尉

〃 九日 〃 香川中尉

〃 十日 〃 平瀬中尉

十月七日 巡察將校 工兵第三中隊ヨリ服務

〃 〃 〃 歩兵第三中隊

〃 〃 〃 銃砲隊

〃 十日 〃 工兵第三中隊

三會報

杉山部隊會報

一、築城ニ関シテハ左ノ点留意スヘシ

1. 水際陣地ハ可成速ニ完成スベシ

2. 火網ハ小銃ニ至ル迄斜射側射トシ正面射ハ不可ナリ

3. 機関銃陣地砲兵陣地等ハ特ニ重要ナルモノヲ最モ

堅固ニ構築シ速ニ骨幹ヲ作製スベシ

必海岸附近ノ土質上被覆ニ注意シ石等ヲ利用シ堅固ニ構築スルコト

5 豫備陣地ハ同一目的ノ爲メ少クモ三個作製スルコト(以上旅団長參謀長ノ指示)

6 人夫ハ毆打スルコトナク上手ニ働カシメルコトニ工夫ヲ要ス爾後人夫ノ補充ハ相當困難ナルニ付特ニ注意スルコト

尚町長區長其他知識階級等指導者ノ奉仕者ハ一般入夫ト區分シ特ニ取扱ヒテ親切ニスルコト

7 工兵中隊ニ於テ戰車障礙物構築ノタメ必要ニ付銃砲隊及砲兵隊ハ夫々各陣地ノ所在地ニ付工兵隊ト

密ニ連絡スルコト

8 師團ヨリノ指示ニヨリ蚊取線香ハ補給セラザルニ付爾今現有品ハ作戰用ニ充當スルコト

9 從來掘開セル築城施設内ニ毒蛇迷ヒ入り偶々何ケ

0756

四行動

ナク壕内等ニ入りタル兵ヲ咬ミタル例アリ各隊ハ此ノ
程危害豫防ニ注意スルト共ニ其ノ處置法ヲ教育シ置
クコト

一、本日ヨリ當分ノ間大本營陸軍部發行ノ爆藥ニ依ル
戰車壞滅戰法ニ基キ作業開始前約三四十分豫定ヲ
以テ戰車凶薄攻撃ノ教育ヲ實施ス

二、第一小隊小隊長以下六名第三小隊厨子軍曹以下
二名ヲ以テハローハローハローノ間ノ陣地(中隊陣地)ノ
各個掩体ノ構築

三、第二小隊小隊長以下二五名ヲ以テハローハローハローノ間
ノ陣地ノ中掩蓋ヲ有スル彈藥庫ノ構築

四、根木伍長以下一七名ヲ以テハローハローハローノ間ノ陣地ノ
大隊本部指揮用中掩蔽部ノ構築

五、三石軍曹以下六名ハ三組ニ分レ右第一線及中第一線

陣地ノ戦車障碍物ノ状況並ニ戦車攻撃ノ據矣トテ ルベキ地形復察ヲ爲ス	六中隊長ハ各小隊ノ作業ヲ指導ス	五人員 異動ナシ(一五六名(出張四名 分遣五名))	六給養 前日ニ同シ	七衛生 患者 練兵休ハ名 前日ニ同シ	八其他 一三五―一四一〇ノ間アルソシ地区警戒警報發令	十月八日 日曜日雨 二位置 二會報
「ヒガ」ニ留ル 第二小隊ヲエウハンニ留ル	「レ」ガスピ「」地区水際陣地附近 上 要圖ヲ配布ス	使用上ノ注意左ノ如シ				

0758

一、消耗品ノ節約防謀上等ノ關係ヨリ一部以上配布セサルヲ以テ大切ニ取扱フヘシ

二、本要圖ハ略圖ニ過キケルヲ以テ各隊ハ地形ニ関スル情報ノ蒐集ニ勉メ逐次之ヲ補修スルト共ニ築城ニ關係アル地形或ハ本要圖ニ於テ特ニ誤レル箇所等ヲ毎日

會報時ニ具体的ニ報告スヘシ

三、戰車障碍物トナルヘキ地形雨期ニ於ケル地形ノ変化等特ニ留意ヲ要ス

四、築城ニ関スル報告ハ爾今本要圖ヲ基準トシテ報告スヘシ

三命令

塚日命令第七十五號

工兵第三中隊日々命令

十月八日

陸軍兵長 橋元 勇

右ノ者至十月八日直勤務ヲ命ス

0759

二 陸軍兵長 林悦重	同 後藤太郎	同 三輪仁一	同 細馬豊	同 山口菊雄	同 北井貞一	陸軍衛生兵長 那須茂	右ノ者受験並ニ事務連絡ノ為明九日ヨリ三泊四日	ノ豫定ヲ以テ三兵隊本部ニ出張ヲ命ス	一 第一第三小隊八午前中對戰車肉薄攻撃ノ班教	練ヲ實施ス	二 第一小隊芦田軍曹以下一六名土民二三名第三	小隊小隊長以下一八名土民二名ヲ以テ三〇〇一七〇〇	ノ間ノ陣地(中隊陣地)各個掩体ノ構築
---------------	--------	--------	-------	--------	--------	------------	------------------------	-------------------	------------------------	-------	------------------------	--------------------------	--------------------

四行
動

0760

三第ニ小隊小隊長以下ニ三名ヲ以テマハロー一二三ノ間

中掩蓋ヲ有スル彈藥庫ノ構築午後兵器被服手入

ノ實施ス

四根木伍長以下ニ三名ヲ以テノ陣地ノ大隊本部指揮用中

掩蔽部ノ構築

五中隊長ハ對戰車肉攻ノ班放練ヲ指導後各小隊ノ作

業ヲ指導ス

異動ナシ一五六名(出張四名 分遣五名)

前日ニ同シ

患者 練兵休七名 急性咽喉炎一名 治療

連日、豪雨ノ下ノ作業影響セリ 風邪發生 焚火ヲ爲シ

之ヲ防除ニ努ム 皮膚病ニ海水ヲ消毒ハ効果アリ



五人員
六給養
七衛生
八其他

0761

十月九日
月曜日
位置
命令

四カニ留ル第二小隊ヲエウハンニ留ル

杉作命令第二〇號

獨立歩兵第六五大隊命令 十月九日一六三〇

一大隊公防衛擔任地域内所在ノ發電機ヲ調査セシメ

二通信班長ハ明十日所要ノ兵カヲ以テ「ガマリク」及「リカオ

附近所在ノ發電機ノ調査ニ任スヘシ

三第三中隊長ハ明十日部下ニ分隊長以下六ヲ以テ

又七兵第二中隊長ハ電兵三名ヲ以テ前項通信班

長ノ發電機調査ヲ援助セシムヘシ

大隊長 杉山 中佐

下違法命令受領者ニ達後複寫交付

配布先 乙 3 2P

杉作命令第四十二號

0762

工兵第二中隊命令

十月九日二八〇〇
ガレ

一中隊ハ杉作命丙第一二〇號基キ明日發電
機調査ノ爲兵ニラ差出シ獨歩第一八五大隊通信
班長ノ指揮下ニ入ラシメントス

二第一及第二小隊長ハ兵各ニラ差出シ前記班長ノ
指揮下ニ入ラシムヘシ

三宿營給養ハ通信班相當スル也

中隊長 塚根 中尉

下達法 命令受領者ニ口達筆記

三行 勤

中隊ハ〇七〇〇一〇七四〇ノ間對戰車肉薄攻撃ノ班教
練ヲ實施シ〇八〇〇一〇八〇ノ間陣地構築ヲ爲ス

一第一小隊芳田軍曹以下一八名土民五名水牛二頭ヲ
以テ陣地(中隊陣地)ノ各個掩体及指揮用輕掩

蔽部ノ掘開

0763

四人員

二 第三小隊小隊長以下二七名ヲ以テ陣地輕掩蓋座
及中掩蓋有ル彈藥庫ノ構築午後15陣地輕掩
蓋座ノ構築

三 第三小隊小隊長以下二五名土民二七名ヲ以テ陣地

四 北端ヲ又路直接防衛多ク水際戰車障礙物ノ構築

四 根木佐長以下一七名ヲ以テ陣地ノ大隊本部指揮用

中掩蔽部ノ構築

五 二〇〇林兵長以下七名ガ工兵隊本部ニ受驗並ニ

事務連絡ノタメ出發

六 中隊長ハ歩兵第三中隊ト水際戰車障礙物構築

位置ノ協定ヲ爲シ一九〇〇一三三〇〇大隊本部ニ陣地

構築ノ狀況報告ヲ爲ス

七 三石軍曹以下二名ヲ陣地ノ細部偵察ヲ爲ス

異動ナンシ五人名(出張二名 分遣五名)

五給養

前日ニ同シ

六衛生

患者 練兵休 五名 病名未詳 一名皮下蜂窠織炎

一名計 二名治愈



十月十日
火曜日 雨

一位 置

二命 令

「ピガ」ニ留ル 第二小隊「ユウハン」ニ留ル

杉作命令 第二二號

獨立歩兵第一八五大隊命令 十月十日ニハ
「アユウハン」

一大隊ハ旅團命令ニ基キ「レ」ガス「ピ」及「ブ」ランニ大發動

艇ハ秘匿置場ヲ速ニ構築セントス

二工兵第二中隊長及「ソ」ル「ゴ」ン「レ」地區隊長ハ左記ニ依リ

大發動艇秘匿置場ヲ構築スヘシ 細部ハ別ニ指示ス

左記

0765